

# W-note

授業構想シート  
授業構想チェックシート  
Rシート

実施時期 **令和 4年 9月** 学部 **中学部**  
教科 **国語** グループ **A** 指導領域 **聞くこと・話すこと**

実態 実態について  
 個別の教育支援計画を確認 (その子どもに必要なこと?)  個別の指導計画で領域を確認  
 知識を段階化した一覧を実態表として使用し、実態を把握  
 「できない」ことは問題でなく、つまずきの原因が重要  
 (1) この題材で達成が可能? 【可能性】 (2) 現在の生活で必要は? 【必要性】  
 (3) 将来の豊かな生活につながる価値は? 【価値性】

## 知識及び技能

- 教師の左右前後上下の言葉を聞いて、正しい方向を指さす (C, K)
  - 「大きい」「小さい」「長い」「短い」の形を含む指示を聞いて、指示と異なる形の物を選ぶ (K)
  - 「〇〇を持って来てください」の指示で、指示の物を取る (C, K)
  - 教師の上下の言葉を聞いて、支援カードを手がかりに方向を指す (J)
- ### 思考力・判断力・表現力等
- 教師の「上の棚の〇〇を持ってきてください」の指示を聞き、上下の棚にある物カードを両方取って持って来る (C)
  - 上 (下左右) の棚はどちらかを問われると「わからない」と言うことがある (C)
  - 教師の指示を聞いて行動した後、何を持ってきたかを問われると、指示を出した教師の名前を答える (C)
  - 2列×3段の棚の前で、上から2段目の右側の棚を教師に問われると、上から3段目の右側の棚を指さす (C)
  - 2列×3段の棚の前で、一番下の段の右側の棚を教師に問われると、一番上の右側の棚を指さす (C)
  - 「大きい」や「小さい」「長い」「短い」の形を表す言葉を含む指示を聞き、物を選ぶ時、指示とは異なる形の物を選ぶ (K)

### 学びに向かう力・人間性等

- 教師の指示を聞いて、聞き取ることができなかったところがあった時に、その場に立っていることが多い (C)
- 教師の指示を聞く時、教師の方ではなく、別の物に目を向けていることがある (K)
- 活動の途中で机にうつぶせることがある (J)

## 学習指導要領の扱う段階の目標と内容

小学部2段階 知識及び技能: ア(ウ) 身近な人との会話を通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類に触れること。

思考・判断・表現: イ簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。

学びに向かう力・人間性等: 言葉がもつよさを感じ言葉のやり取りを聞いたり、伝えたりしようとしている。

## 【どうなってほしいかを三つの柱で整理】

<b>【何を学ぶ?(知識)】</b> 物、形、動き(持って来る、持って行く)、場所(位置)の言葉が表す意味や働きの理解	<b>【〇と判断できる発言や姿】</b> ・指示に合う物を選んで自身の人形にのせて指示どおりに動かす	<b>【大まかにどう段階化する?(詳細は題材計画で)】</b> C 位置: 基点(上下→左右)、基点からの位置を表す言葉(列、段)いづれか→組み合わせ、棚数の追加 K 物の形を表す言葉の種類追加 → 動作を表す言葉の追加(持って来る、持って行く) J 動作を表す言葉の数の追加(持って来る、持って行く)、場所を表す言葉の数の追加
<b>【どう学ぶ?(活動)】</b> ・指示を聞いて、指示通りに行動する活動の設定	<b>【〇と判断できる発言や姿】</b> ・指示の内容に合う場所(位置)から物カードを取り、もう一方の場所(位置)へ移動させる	<b>【大まかにどう段階化する?(詳細は題材計画で)】</b> ・増えていく視点と指示の言葉の意味とのつながりを考えて指示に合う行動を判断する
<b>【望む姿勢や姿は?】</b> ・指示を聞いた後、聞き取れなかった視点を尋ねる (C) ・教具を使って聞き取った視点を確かめる (C) ・教師の顔を見て指示を聞こうとする (K, J) ・指示を聞いた後、自分から行動する (K, J)	<b>【どう引き出す?】</b> ・正しく行動できた時に指示の言葉と行動が一致していることを認め、課題を解決することができたご褒美カードを獲得することを事前に示して取り組む	

【教材は?】 【教材名: **配達ゲーム**】

## 【仕組み】

- 配達屋になって、指示 (J:物と動作 K:形、物、動作 C:物、位置、動作) を聞き、指示に合うように行動する。
- 一人ずつ行い、最後まで課題に取り組むことができたご褒美カードがもらえる。



【全 8 時間をどう使う?(題材計画)】

【一次】1時間 活動の仕方や仕組みを知り見通しや興味・関心をもつ	【二次】5時間 指示を聞いて必要な視点の言葉の意味がわかり、指示の視点に合うように物カードを選び、人形を移動する C:基点(上下→左右)→基点からの位置(列、段)、→ 基点からの位置(〇列目の〇段目) K:形(大小→長短→太細→厚薄) → 動作(持って来る→持って行く) J:動作(持ってくる→持って行く) → 場所(教室、教室、更衣室)	【三次】2時間
【思判表】	指示を聞いて必要な視点を聞き取り、指示に合う場所や位置から物カードを選んで、指示に合う場所へ移動する C:物、基点(上下→左右)→基点からの位置(列、段)いづれか、動作(持ってくる、持って行く)いづれか → 物、基点からの位置(〇列目の〇段目)、動作(両方) K:物、形(大小から追加していく → +長短+太細+厚薄)、動作(持ってくる、持って行く)いづれか → 物、形、場所、動作(両方) → 物、形、数、場所、動作(両方) J:物、動作(持ってくる、持って行く)いづれか → 物、動作(両方) → 物、場所、動作(両方)	C:→物、基点からの位置(〇列目の〇段目)、動作(両方) K:→物、形(大小、長短)、動作(持ってくる、持って行く) J:→物、場所、動作(両方)
【主体的な姿】	<input checked="" type="checkbox"/> 指示を聞いた後、できなかった視点について尋ねる (C) 全ての課題を終えるまで取りむ (C) <input checked="" type="checkbox"/> 教具を使って聞き取った視点を確かめる (C) <input checked="" type="checkbox"/> 教師の顔に目を向けて指示を聞こうとする (K, J) <input checked="" type="checkbox"/> 指示を聞いた後、自分から行動する (K, J)	<input checked="" type="checkbox"/> 指示を書いた文を読み、正誤を自分で確かめて課題に取り組む (C) <input checked="" type="checkbox"/> 指示を聞いた後、教師と一緒に教具を使って言葉の意味を確かめすべての課題を終えるまで取り組む (K, J)

## 【めあて達成のための工夫は?(場面設定・教具・働きかけなど)】

<b>【工夫点】</b> Cの教具 【メモシート】 	<b>【意図(ポイント)】</b> 指示を聞いた後で内容を確認できるように、聞き取った内容を一旦記録するための物。上下左右の基準や、基準から〇番目などの位置を表す言葉に印をつけることや、数字カードを貼りつけることですばやく記録ができるようにした。上下と左右の言葉の意味がわかるように上下をピンク、左右を緑で示すようにしている。
Cの教具 【位置シート】 	<b>【位置確かめシート(上下用と左右用)】</b> 位置シート上に位置確かめシートを置き、上下、左右に移動させる 正しい位置を確認できるように、位置シート上に位置確かめシートを置き、基準の位置から〇番目の位置に移動する。上下と左右の位置確認シートが交差したところが指示の位置であることがわかるように、色をつけた。最初は異なる色の枠線のみであったが重なった部分がわかりやすいよう赤と緑の半透明のセロファンを使うようにした。

## 【1時間をどう展開する?】

<b>学習活動</b> めあてを確認し読み聞かせを聞く 指示を聞き取って、机上で物カードを選んで起点、人形を動かしたりして物を移動する 教師の指示を聞いて内容に合うように、物カードを選んで移動する 学習の成果を振り返る	<b>意図と働きかけ(主発問・認め・タイミングなど)</b> ・前時を振り返り、見直しをもって取り組むようにする ・学習活動に気持ちが向くように、読み聞かせをする ・物を表す言葉と物(形)を確かめる ・指示の言葉と動作が一致していることを確かめるようにする ・起点や位置を表す言葉と、基点、位置を確かめるようにする ・指示と合う物、行動、位置を選ぶことができた時は、正しく聞き取ることができたことを認める ・指示を聞いて実際に自分で行動できるように活動するようにする ・言葉の意味と動作が一致していることを確かめるようにする 視点(物、形、場所、動き)を聞き取ることができていたかを振り返るように、正しく聞き取ることができたことを認める	<b>【板書・配置・教具など】</b> 教室内配置  展開場面はそれぞれの机上で、発展場面は1人ずつ友だちの前で行う。 <b>【物カード】と【配達人形】</b> 物カードは配達人形の段ボール部分に差し込んで使用する <b>【改善】</b> 教室内配置  【動作確認シート】 指示の言葉と行動が一致していることを確認する 【位置確かめシート】 枠のみからセロファンを貼った物へ 【物カード入れ】 ケースからカゴシートへ
---	---	--

## 【評価】

開始時の姿(実態・課題)	指導・支援	結果
C 具体的な位置(上下左右)を含む指示を聞いて行動する時、位置を間違えることがあった。	最初は2つに分かれたケースを使い、上下(左右)で上(下)左(右)の2択で行うようにした。聞き取った内容を記憶できるようにメモを取ることにして学習に取り組んだ。また、時数が進むにつれてケースの棚数を段階的に増やしていき、指示の位置を探すために位置確認シートを使うようにした。	指示の中の聞く視点がわかり、物、位置を表す言葉を聞き取ってメモシートに指示通りに記録する姿が見られるようになった。また、位置確認シートを一人で正しく操作して、指示の位置を正しく捉え、指示に合う行動ができる姿が見られるようになった。



① 9/5	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】 C:上下2段の位置を聞いて指示に合う位置の棚を指さしたり、物を置いたりする	C:指示の内容に合う方の物を取って、指示された位置に置くことが難しい。提示した2枚の両方のカードを取る K:途中から参加したため(遅刻)ほぼ取り組むことができていない
J:物の言葉聞いて正しい物を選ぶことができていた	

⑤ 9/16	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	C:基準を表す言葉の意味は理解できているが、行動に移す時、指示と異なる位置に物を置く。 K:「大きい」「小さい」の言葉聞き、異なる形の物を選ぶ J:「持ってくる」「持っていく」の指示聞き、指示と異なる動きをすることがある
J:イラストのカゴを使って課題に全て取り組み姿が見られた	

【気づいたこと】	J:正誤が言葉だけでは伝わりにくい
----------	-------------------

【気づいたこと】	C:の教具を使っての位置の確かめ方が身につけていない
----------	----------------------------

主・対で深い学びの実現に向けた改善	J:自分で正誤判断できる物があるとい(正解図の準備)
-------------------	----------------------------

主・対で深い学びの実現に向けた改善	C:教具を使い位置の確かめをする時、基準と基準から○番目までの移動の仕方を教師と一緒に行う J:「持ってくる」「持っていく」の言葉で指示を出して、赤字を強調して伝える
-------------------	--

② 9/7	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	C:2枚の物カードから指示に合う物カードを選ぶ時、前時では2枚選んでいたが、本時では1枚選ぶ姿が見られた K:物については正しく選ぶことができた
J:展開場面では、準備した8問の課題に全て取り組みることができた 発展場面では全問正答できた	

⑥ 9/21	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	C:教具の操作は一人でできた K:大小の指示を聞き取って行動できた J:「持ってくる」の指示を聞き取って行動できた
K:展開場面で活動が止まる J:「持っていく」の指示を聞いて指示と異なる動きをする	

【気づいたこと】	C:指示を聞いて内容を忘れてしまうことが見られた時は、内容を忘れた時に、もう一度指示を伝えるようにしたが、指示を記録できる物があるとい
----------	---

【気づいたこと】	C:確かめシートを交差させた時、交わった部分がどこかがわかりにくい K:活動が止まることから、Kが操作して言葉の意味を確かめることができる教具を考える
----------	--

主・対で深い学びの実現に向けた改善	C:聞いた指示を自分で確かめられるように記録ボードを準備する K:取り組む問題がいくつかあるかがわかり、見通しをもつことができるようにボードを準備する
-------------------	--

主・対で深い学びの実現に向けた改善	C:確かめシートを交差させた時、交わった部分の色が他の部分の色とはっきり区別がつくように異なる色のセロファンを貼る K:引っぱって長さが変わる仕組みの教具作成。興味を示すキャラクターを使う。
-------------------	--

③ 9/12	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	C:指示を聞いて記録をする K:大小の言葉と意味を理解して指示された方を選ぶこと
J:「持ってくる」の指示に対して、指示に合う行動できた	J:「持っていく」の指示で、持ってくる動作をする逆もあり

⑦ 9/26	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	
生徒体調不良のため実施できず	

【気づいたこと】	
----------	--

【気づいたこと】	
----------	--

主・対で深い学びの実現に向けた改善	K:「大きい」「小さい」や「長い」「短い」の言葉の意味が視覚的にわかるように、操作して理解を促すことができる教具を準備する
-------------------	---

主・対で深い学びの実現に向けた改善	
-------------------	--

④ 9/14	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	J:「持ってくる」「持っていく」の言葉聞いて「持っていく」の指示で持ってくる動作をする物カードを入れるカゴを動かして指示に合わない行動が見られる

⑧ 9/28	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	C:確認シートを一人で操作し、正しい位置にあることを確かめることができた 「持っていく」の指示を聞いて行動できた K:教具を操作し、「長短」の確かめを自分で行い、持ってくるの指示で行動できた J:課題に全て取り組むことができた 持ってくる、持っていくの指示通りに行動できた

【気づいたこと】	C:記録する時に、時間を要する J:カゴを移動させることがある
----------	------------------------------------

【気づいたこと】	
----------	--

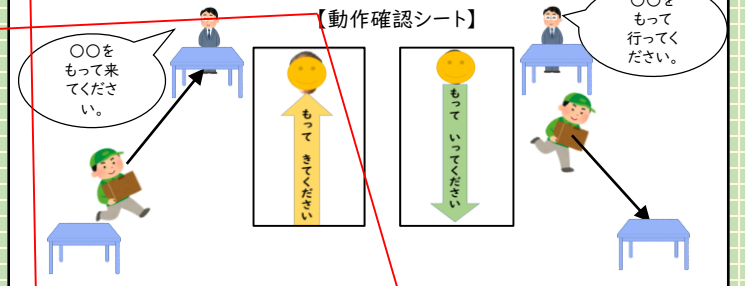
主・対で深い学びの実現に向けた改善	【気づいたこと】 C:メモシートは選択式にする J:物カードを入れるカゴをイラストシートに変えて固定する
-------------------	--

主・対で深い学びの実現に向けた改善	
-------------------	--

# 実践のポイント

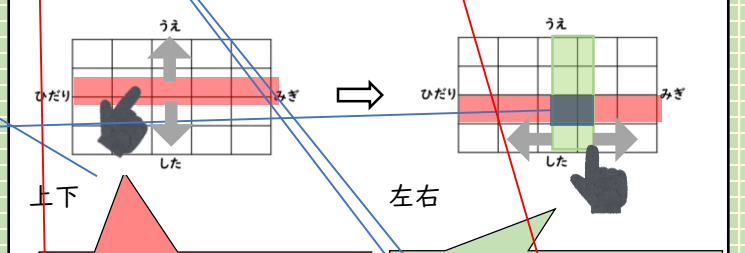
## 「持ってくる」「持っていく」の言葉の意味や動作の理解

教師の指示と合わせて、実際にその動きを示して取り組むようにした。また、生徒が指示を聞いて指示通りにできたかどうかを確かめるシートを使った。「持ってくる」で指示を出した教師に物を持って来ることを矢印で示し、「持っていく」で指示を出した教師のそばに置いてある物を、荷物置き場へ運ぶことを矢印で示し、移動させる方向や言葉の意味を確かめられるようにした。指示で使う言葉についても「持ってくる」と「持っていく」で統一して伝えるようにした。



## 基準(上下左右)と基準からの位置の理解

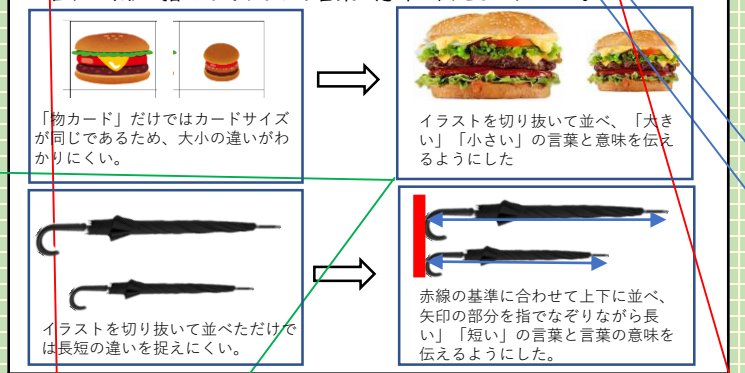
上下左右の基準を表す言葉とその意味については理解ができているが、実際に指示を聞いて行動する時に基準や基準からの位置を間違えてしまう実態があった。そこで、まずは聞き取った指示を正しく記憶できるようにする必要があったと考えた。記憶についてはメモシートを使い、その記録から位置シートと確かめシートを使うようにした。基準はどこか、基準から何番目かを一緒に指さしたり、順番に数えたりして、位置確かめシートを移動して確かめるようにした。



「基準はどこかな?」と問い、確かめるようにする。基準が上の時は「上から1,2...」と基準からマス目を数えながら指をさして位置確認シートを置く。  
「基準はどこかな?」と問い、確かめるようにする。基準が左の時は「左から1,2...」と基準からマス目を数えながら指をさして、位置確認シートを置く。  
「重なっているところ(色が濃くなったところ)はどこかな?」と問い、指をさした位置が指示の位置であることを伝える。

## 形を表す言葉の理解

「大きい」「小さい」の言葉と意味が理解できるように、「大きい」物「小さい」物を比較する時に、大きさの異なる2枚のイラストを並べ、言葉と意味を伝えるようにした。「長い」「短い」については、比較するイラストの端を基準となる線に合わせ、形を指でなぞりながら言葉と意味を伝えるようにした。



## 働きかけについて(HOW TO)

- ☑ 自ら考え、判断して行動する手助けをするための物
- ☑ 活動「開始時」「途中」「つまずき」「終了時」を想定
- ☑ 誘い、示範例示、助言、説明、問いかけ、盛り上げ、賞賛、励まし、認め、意味づけなどを行う
- ☑ 子どもに合わせた伝わりやすいことばや提示
- ☑ 抑揚や身振り、表情、子ども好きな物など工夫
- ☑ つまずきに対して答えでなく段階的な働きかけ
- ☑ 課題遂行につながる効果的なことばかけ
- ☑ 何がよかったかわかるよう即時評価
- ☑ よさや価値を伝えられる認め
- ☑ 働きかけを段階的に減らしていく工夫

- ### 題材目標について
- ☑ それぞれの子ど目標を個別化する
  - ☑ 授業の評価・改善ができるよう、題材の最後の姿(到達像)の具体化する
  - ☑ 身につけたいことを焦点化する
  - ☑ 前単元や題材、または、日常生活で意欲的に取り組めた工夫を活用  
例:教材の仕組み、学習環境の工夫など

- ### 教材について
- ☑ 子どもに身につけてほしい知識及び技能、生活に生かせるような思考力・判断力・表現力をその教材で習得・育成できる?
  - ☑ 必要性を感じ、課題をもてる?
  - ☑ 主体的・対話的な活動は取り入れられる?
  - ☑ 絵、写真、ビデオなど具体物を使用するなどの工夫ができる?
  - ☐ 子どもが自分でルールを決めたり、役割を設定したりできる?
  - ☑ 子どもにとっての強化子はある?

- ### 題材計画について
- ☑ つまずきの原因分析から、できること・わかることが段階化されている?
  - ☑ 子ども物学び取りの傾向から課題の引き受けや実施方法が検討・工夫されている?
  - ☑ 全体の計画と個別の計画がわかるようになっている?

- ### 【一次】
- ☑ 仕組みを理解したり、楽しさを感じたりできる?
  - ☐ 活動の意味やよさが十分理解できる?
- ### 【二次】
- ☑ 二次は確実な知識の習得
  - ☑ 子どもに到達してほしい頭の使い方がぶれていない?
  - ☑ 負荷がかかりすぎていない?
  - ☑ 支援が減る、問題の難易度が高まるなどしている?
  - ☐ 友だちと一緒に学ぶ場が計画されている?
  - ☐ 自分で考えた仕方や解決方法を生かせる仕組み?

- ### 【三次】
- ☐ できるようになったことを生かす場は設定されている?

- ### 学習環境について
- ☑ 活動の流れや量、しやすさを考えた道具材料の配置?
  - ☑ 不要な刺激は排除している?
  - ☑ 仕方や手順がわかりやすく伝えられる?
  - ☑ 成果が見てわかる?
  - ☐ 自分で仕方や手順を確かめられる?
  - ☑ 教具は、思考(わかる)を補助できる?
  - ☑ 教具は一人で使えるようになる?
  - ☑ 期待感(してみたい!)をもてる?

- ### 学習活動について
- ☐ 導入は課題理解、興味関心
  - ☑ 展開は知識習得のため、教具の理解や操作が適切?
  - ☑ 発展は定着、応用、工夫できる?
  - ☑ 終末は自己評価と次時への意欲
  - ☑ 目的や意味、よさがわかる?
  - ☑ 課題は段階的に高まっている?
  - ☑ 間違いに気づいてやり直せる仕組み?
  - ☐ 学習の結果と目的がつながって達成感がもてる?

- ### 評価について
- ☑ めあてと指導はつながってる?
  - ☑ 文章・文法はわかりやすい?伝わる?
  - ☐ 不適切な表現はない?(難しい、できないなど)